

研究協力のお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科大学

整形外科学教室

記

研究課題名：	第1足根中足関節不適合が外反母趾術後成績に及ぼす影響
研究の目的：	当教室で手術を行った外反母趾の術後成績を調査し、第1足根中足(TMT)関節の不適合が成績に及ぼす影響を調査することを目的としています。
研究の意義：	外反母趾の原因の一つにTMT関節の不適合がありますが、その頻度は明らかではありません。また、外反母趾成績不良の原因に外反母趾の再発や術後内反母趾がありますが、TMT関節の不適合との関係についても明らかではありません。TMT関節の不適合がこれら合併症を含めた術後成績に及ぼす影響を本研究で明らかにすることに、TMT関節の不適合例に対する術式の選択や改良、手術成績の向上に寄与すると考えます。
研究の対象：	本院整形外科にて2007年以降に外反母趾の診断で手術を受けた20歳以上の外反母趾の患者さんです。
該当期間：	2007年1月1日 ~ 2021年3月31日
研究の方法：	当院カルテから年齢、性別、疾患、検査値、画像記録などの情報を取得します。これらの情報を利用させていただくことを患者さんに情報公開(HP掲載及び院内掲示)し、本研究に利用します。
研究期間：	研究実施許可日 ~ 2025年9月30日
個人情報利用目的、開示等の求めに応じる手続き：	

対象者の方を特定できないように対処したうえで、本臨床研究の成果を学会や論文等で公表します。対象者の個人情報については、パスワードを設定したハードディスクに入れ、整形外科医局で施錠できる保管庫内で保管、匿名化した上で取り扱います。対象者の方（その代理人）より、本研究で保有する個人情報の開示を求められた場合には、対象者の方（その代理人）の同意する方法により情報を開示いたします。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

整形外科学 嶋 洋明 内線 2364

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。

当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：

整形外科学

講師（准）

嶋 洋明

本研究にて取得しました情報は、厳重な管理を行い、本研究以外の目的では利用いたしません。

対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

ご自身の既存試料・情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 整形外科学教室

（大阪医科大学附属病院 整形外科）

担当者： 嶋 洋明

T E L : 072-683-1221（代表）

内 線： 整形外科医局 2364